

村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 議事録

会議名	第2回 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会		
年月日	平成27年8月18日(火) 10:00～11:51		
会場	村上市役所本庁 5階第5会議室		
出席者	<p>【委員】</p> <p>関川村商工会 女性部副部長 伊藤真由美 粟島汽船 株式会社 課長 小幡 浩一 村上地域振興局 健康福祉部 部長 佐々木綾子 村上地域グリーン・ツーリズム協議会 事務局 鈴木 信之 関川村温泉旅館組合 青年部長 高橋 俊 越後村上物産会 会長 瀧波 匡子 NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事長 忠 隆司 村上市消防団 団長 中山卯一郎 村上市図書館協議会 会長 秦 紳二 公益財団法人 関川村自然環境管理公社 専務理事 船山 久治 粟島浦村観光協会 事務局 松浦 拓也 いわふね森林組合 組合長 山田 正幸</p> <p>【村上市】</p> <p>政策推進課 課長 渡辺 正信 政策推進課 参事 竹内 和広 政策推進課 企画政策室 係長 田村 政和 政策推進課 企画政策室 主査 大矢 透 政策推進課 企画政策室 主事 石平 悠佳</p> <p>【関川村】</p> <p>総務課 主幹 野本 誠</p> <p>【粟島浦村】</p> <p>総務課 課長 本保 準一</p>		
[進行]事務局	1. 開会 〈あいさつ〉 〈資料の確認〉		
忠会長	2. 会長挨拶 〈あいさつ〉		
忠会長	3. 議 事 (1) 村上岩船定住自立圏共生ビジョン (原案) について ①人口等の推移等について、事務局より説明をお願いします。		
事務局	議事 (1) ①人口等の推移等について【資料1-1】説明		
忠会長	①人口等の推移等について、ご質問等ございますか。		
忠会長	ご質問等ないようでありますので、続いて②圏域の将来像について、事務局より説明をお願いします。		

事務局	②圏域の将来像について【資料1-1】9ページを説明
忠会長	今ほど説明をいただきました、②圏域の将来像について前回皆さんに意見集約シートの提出をお願いし、3名の委員よりご意見等があり、その意見を参考にしながら、文言等の整理をしたという説明でありましたけれども、提出いただきました、3名の委員からご自分の意図とした内容が網羅されているかなど、コメントや補足説明がございましたらお願いします。鈴木委員、何かありますか。
鈴木委員	この地域の中で、資源を皆で認識しなければならないだろうということで、共有の財産について書かせていただきました。それを皆で共有しながら、その部分を共同で支えて発展できたらいいなと思います。具体的には、村上城跡などがありますが、貴重な資源として気にもしない方もいるかと思いますが、全体の財産としていろんな角度から見つめなおして、今後圏域全体で共有の財産を磨いて光らせたいと思いました。
忠会長	ありがとうございました。特にこの9ページについて、ご自分の意図としていることとは少し違うという方はおりますか。
瀧波副会長	私、小国町に住んでいるのですけれど、小国町の若い人も仕事が無くて、本当は帰ってきたいけれど、都会に暮らしているという方が多いです。これはどこの地域でも言えることですが、若い方がこの町で仕事を見つけて暮らしていけるかということを私も農業に従事している者ですが、真剣に考えていきたいと思っております。
忠会長	ありがとうございました。本間委員からも意見がありましたが、本日欠席ですので、ほかの委員の皆さんから何かございますか。
佐々木委員	6行目からの3行がすごく気になるのですが。これは新たに追加したものですよね。それぞれの市町村がフルセットで生活機能を整備していく・・・と記載されていて、連携協力という言葉がその下の方にも広域連携もありますし、連携という言葉が4つでしょうか、かなり記載されているので、この新たに追加した3行は必要なのでしょうか。フルセットで生活機能を整備するという言葉にすごく抵抗があるのですが。あまり横文字を入れない方が良いのではないのでしょうか。新たに追加した意図はあったのでしょうか。他の委員から意見があったのでしょうか。
事務局	この3行につきましては、特に委員の方からご指摘でなく、私どもの方で追加したものでありまして、フルセットという言葉も他市の事例を参考にして追加したものでございます。
佐々木委員	あまり長くない方が良いのではないのでしょうか。
事務局	佐々木委員がおっしゃるとおり、連携等の言葉が後にも出てきますし、同じような内容が積み重なっているようであれば、省いてもよろしいのかなと思います。

<p>忠会長</p>	<p>事務局よりそのような回答がありましたが、今時フルセットという言葉あまり聞かないし、使わない感じがしますので、修正案として、佐々木委員より意見のありました、この3行について削除するという事によろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、圏域の将来像でご指摘のありました、3行について削除することで決定いたしました。</p> <p>他にご意見ございますか。②圏域の将来像につきましては、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>次に③具体的連携事業でございますけれども、これにつきましては、項目が相当ございます。そこで、目次で第3章村上岩船定住自立圏共生ビジョンに基づく具体的取組ということで1生活機能の強化であれば(1)から(7)、2結びつきやネットワーク強化であれば、(1)から(3)、3圏域のマネジメント能力の強化については、(1)ということでございますので、1項目ずつ説明をいただき、整理をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、医療について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>③具体的連携事業【資料1-1】10ページ 医療について 説明</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。この医療につきましては、【資料1-2】で佐々木委員より、医療懇談会、自殺予防対策推進事業ということで2項目について意見が提出されております。佐々木委員より補足説明等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>【資料1-2】の2ページ目の医療懇談会についてでございますが、従来医療フォーラムというものを年1回開催しており、今年もこの8月22日(土)開催予定で今年は、「適正飲酒」の話がありますけれども、一番重要な当地域での医療機能の強化としては、村上総合病院の移転新築なくしては語られないと思います。圏域の高齢者人口が平成32年までますます増加する中で、患者さんが増えてくるわけです。是非、村上総合病院の活性化事業というのを今年は難しいかもしれませんが、来年度あたりに追加していただき、地域として積極的に村上総合病院を支援していくことが必要だと思っています。県立坂町病院については、現に県立坂町病院活性化協議会という協議会が組織されて、毎年実施されておりますが、厚生連村上総合病院については、そのような組織も事業の動きも全くなかったわけです。住民の後押しがないとなかなか話が進まないと思います。駅西ということについては、村上市も厚生連も一致しているようですけれども、具体的な土地の買い上げ、また今の総合病院の跡地をどうするかということについては、なかなか話が進んでいないと思いますので、是非村上総合病院を住民自らが支援していくという動きがないと、もう病院の先生方もスタッフもあの古い病院の中では限界状況で働いておりますので、後押しをするような動きが必要なのではないかなということで書かせていただきました。新たな活性化事業というのを提案してみました。</p> <p>また自殺予防対策の推進につきましては、関川村さんは先駆けて予防対策を推進されて成果を出していただいておりますけれども、村上保健所管内で見ますと平成16年から平成25年の10年間で273人ということで、人口10万対では36.5人と県内13保健所中ワースト3位になります。また、新潟県の平均寿命を市町村別に比較すると村上市の男性が最も県内で短命です。新潟県男性平均寿</p>

	<p>命が79.5歳に対して、村上市は78.3歳、関川村が79.1歳、粟島浦村が79.5歳ということで、医療ということで考えますと、関川村も粟島浦村は環境的にも村上市より良いとは思えないのですが、村上市が一番悪いということです。一方女性は県平均87.0歳に対して、村上市が87.0歳、関川村が87.1歳、粟島浦村87.0歳と平均的な結果です。管内で男性が短命な原因の一つに自殺率の高さが影響をしているわけでありますけれども、自殺率が高いということを実際住民が非常に重要な健康被害であるということを知らないのではないかと思います。ある住民に話をしたときに「自殺は本当に悪いことなのか。自分で自分の始末をつけることは男らしいことではないのか。」と言われたこともありましたが、やはり自殺というのは、後に残された家族や周囲に対する影響及び本人にとっても本当に自殺を望んでいたのかと、真面目に考えると望ましい終わり方ではないと思います。これだけ豊かな自然に恵まれていて暮らしやすく、人とのつながりが密接にあると言われていながら、実は自殺が多いということをもっともっと明らかにして、働き盛りの男性そして高齢者最近では若年層の20代も増えているということなので、各年代に応じた効果的な事業としては是非新年度からは取り組んでいただきたいと要望いたします。以上です。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。ただいま佐々木委員の方から補足説明があったわけですが、事務局の方から意見に対しての回答をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>佐々木委員の方から2点ほどいただきましたので、現時点での事務局としての考え方について、ご説明させていただきたいと思います。</p> <p>1点目の村上・岩船地域医療懇談会事業ということで、委員おっしゃることは、たまたま私どもの課が村上総合病院の新築支援について、所管させていただいておりますので、参考にさせていただきたいと思います。現在ご存知のように先の新聞報道等で平成32年の開院を目指すということで、厚生連としてのゴーサインが出たわけですが、ただ現状を申し上げますと基本構想の確定というまでには至っていません。ご提案の事業は、大変ありがたい提案だと思っておりますが、委員の方からも「今年度は難しい」という言葉を付けていただきましたので、事務局といたしましても今回の共生ビジョンには、取り組むことはできないだろうと思います。ある程度病院側で基本構想が確定した段階では、このような仕掛けの部分をどうやっていくのかということを考えていかなければなりません。村上総合病院になりますと跡地利用という村上市独自の問題もありますが、定住自立圏という圏域の地域医療を支える基幹病院でもありますので、その辺の整理の仕組みとしてポイントの部分かネットワークの部分かの進め方を色々なご相談をしていかなければならないと思っております。私どもがたまたま担当課でありますので持ち帰らせていただきまして、翌年度の共生ビジョンの見直しの中で、ある程度の方向性を皆さんにご議論いただく形をとらせていただきたいと思います。関川村と粟島浦村の担当者も出席しておりますけれども、負担金などの財政的な部分の議論もまだスタートラインに立っておらず、この定住自立圏で掲げる内容と3市村で負担金との関係などについて、整理できるかを含めて検討させていただきたいと思っております。</p> <p>それから2番目の自殺予防対策推進事業でありますけれども、男が短命だということで、今回委員からのご意見で初めて認識させていただきました。委員におかれましては、健康福祉部で様々な会議を開催していると思っておりますので、内部からのご提案もいただき、それをきちんと定住自立圏の中で、位置づけてやるということでは大変ありがたい提案だと思っております。【資料1-2】2ページ目の最後に委員より効果的な事業を要望しますとありますので、是非と</p>

	<p>もこの定住自立圏で集まる担当者会議で自殺予防に関して、どのようなことをすれば良いのかというレベルの話し合いをどんどん進めたいと思いますし、県も含めたあるいは関係団体も含めたネットワークの会議にいかにか反映していくかというところになりますので、このご提案はそのまま、これから分科会組織を作っていく際に提案していきたいと思っております。特に若者と働き盛りの男性というところがキーワードなのかなという感覚では考えさせていただきました。担当課の方へきちんと伝えていきたいと思っております。</p>
忠会長	<p>佐々木委員、よろしいでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>よろしく申し上げます。</p>
忠会長	<p>それでは、事務局の方も今言われたことをきちんと守っていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。続きまして、14ページ（2）福祉について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③具体的連携事業【資料1-1】14ページ 福祉について 説明</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。今ほど事務局説明がありましたが、委員の皆さんから何かございますか。今日は社協の楠田委員が欠席ですので、専門の方がいらっしゃるのですが、私1点気づいたところあるのですが、よろしいでしょうか。子育て支援センターとはならないのですが、母親が気軽に集まる場所がないということで、自画自賛するわけではございませんが、都岐沙羅で「おしゃべりカフェ」等もやっておりますので、その辺も少し考えていただけたらありがたいと思います。</p> <p>その他、福祉の方はよろしいでしょうか。ないようでありますので、続きまして17ページ（3）教育について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③具体的連携事業【資料1-1】17ページ 教育について 説明</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。教育につきましては、秦委員、それから鈴木委員の方からご意見を頂戴しております。まず秦委員の方から、特に説明することがございましたら、お願いします。</p>
秦委員	<p>はい、私がここに来ている肩書きが村上市と岩船郡の2村で構成されている村上市図書館協議会の会長という立場で出席させていただいております。年に2回ほどの会議を開いており、関川村、粟島浦村からも委員が出席しております。村上市の中央図書館を中心としてどういう活動をして、その活動の実績報告などを議論しております。村上市の中央図書館は全国的にも表彰されるくらいレベルの高い図書館でありまして、その事業内容も誇っても良いくらいであります。問題はですね、関川村、粟島浦村との連携ということになってくると思っています。その中で何といたっても各自治体での予算の配分・懸け方それから人員の配置だと思います。図書館と名乗れるのは村上市の中央図書館と、朝日支所の図書館のみで他はすべて図書室であります。その中でどのように人員を配置するか、どう来てもらうか、例えば本を読む年代別の率が下がってきていることは、悩みの種でございますが、事業としてはそれ以上ないのではないかとされるくらい、公民館事業に組み込むかなというくらいまでの事業を打って出ているわけでありまして。またこれほどの市町村も悩みの種だと思いますが、もう少し予算と人員を懸けていただければ、もっとより良いことはできるので</p>

	<p>はないかなといつも思いながら見えています。以上です。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。一つずつ区切っていきたいと思います。事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。職員と予算と言われると公務員は何とも言えない部分がありますけれども、このまま財政課に伝えていきたいと思っております。また勉強不足で大変申し訳ないですが、中央図書館の方で、昨年度末に読書推進計画を策定してこれからその計画に基づいて、やるというお話を聞いておりますので、お聞かせいただけますでしょうか。</p>
秦委員	<p>私たちは、読書推進計画について諮問を受けるものではありません。内容については、我々が意見を挿むところはないような計画みたいですので、村上市全体として別に図書館だけの話だけではなくて、市全体としての取組として執り行うという話を聞いています。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。その読書推進計画策定の中で、ネットワークをどのように捉えているかについて、担当課から聞いておりませんが、この事業は中央図書館自体が3市村で旧岩船地域広域事務組合時代から共同で取り組んできた事業でございますので、読書推進計画の位置づけを拡充しながら、計画を推進する手段として予算と人員配置という話となれば、第2次総合計画策定作業の中で議論されていくのだらうと思います。現段階ではそのような答弁になります。よろしくお願いします。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。それでは次に新規提案ということで鈴木委員の方から説明をよろしくお願いします。</p>
鈴木委員	<p>圏域全体で将来像の所にも記載したのですが、子どもに地域の魅力を感じさせて、郷土に誇りを持てる子供たちを育てるということで、村上市全体でもやっているわけでありましてけれども、今後この定住自立圏を進めていくうえでは、関川村、栗島浦村と一緒に連携していくべきことだと考えまして、是非とも村上市で行っている、郷育会議ということで、地域の方々と学校が一緒になって会議を持っているわけですので、その辺を全体で進めていければいいのかなと思ひまして提案させていただきました。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。これは今年10回目だね。実は私も携わってまして、10回目で関川村さんにどうですかという話をしていたのですが、結局関川村さんは今年については、入らなかったみたいですね。それでは、事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>郷育会議は組織として、村上市が掲げている固有名詞の会議でありますので、栗島浦村さんは、それこそ「しおかせ留学」を地域と連携してやられていますし、また関川村さんも地域が関わっているようなイベントをやっておりますので、このまま教育委員会の方にバックさせていただきたいと思ひます。ただ内容につきましては、前回の会議では、分かりにくい説明となりましたが、共生ビジョンの形成協定内容となりますので、議会の議決事項になります。今年度中に変更するかまたご相談させていただきたいと思ひます。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。他にございますのでしょうか。</p>

佐々木委員	<p>ことばとところの相談室事業について、事前には言ってなかったことですが、よろしいでしょうか。</p> <p>ことばとところの相談室事業、特別な配慮が必要な幼児・児童生徒を対象としてということですが、委員の皆さんあまりピンとこないかもしれませんが、発達障害とか自閉症学習障害とか、注意欠陥多動症候群とって昔から各クラスに1人ぐらいは落ち着きがなく、人の話が聞けなくて、少し変わった人がいたかと思うのですが、医学が進歩してそういう人たちの診断、そしてどのように対応していけば能力を発揮できるか。例えばアスペルガー症候群というのは、ノーベル賞を取るくらい実は能力の高い人たちもいると言われていたんですけども、専門のドクターがこの管内にはいないのです。今まで保健所も新潟県はまぐみ小児療育センターから児童精神科のドクターが来ていただいて毎月相談事業をやっていたのですが、この4月から村上総合病院に毎週1回木曜日に和田先生という方が子供の発達障害の特別な外来を開いていらっしゃる。既に3カ月先まで予約がいっぱいな状況です。子供と親御さんたちがその外来に押しかけている現状というわけです。この和田先生は、是非この村上管内で発達障害の子供たちまた親御さんたちを支援する活動をやりたいということをはっきりおっしゃられています。この相談室にも専門員の方はいらっしゃいますけれども、是非予算を付けていただいてそのようなドクターを配置していただければ、例えば、しおかぜ留学で栗島浦村に来ている子供たちの中にもおそらく、引きこもりですとか、学校にいけないという方たちが全国から集まっていると聞いているので、出張して話を聞くとかできるかと思しますので、是非この相談室事業に大きな費用を懸けていただいて専門家を入れていただくことによって子育てしやすい地域になるのではないかと思いますし、和田先生はとても熱心で良い方なので、気持ちを行政として汲み取っていただければと思います。今月中に村上市岩船郡医師会報が発行されますけれども、和田先生がその会報ではっきりと書いております。「この地域をモデル地域にして発達障害の子供たちを支援していきたい」とおっしゃっているので、この事業の中で汲み取っていただければと思います。よろしく願います。</p>
忠会長	事務局の方から、願います。
事務局	<p>ことばとところの相談室は、旧岩船地域広域事務組合から取り組んでいた事業です。専門の方が1名正職員として配置されており、その他に臨時職員・嘱託員を配置していますが、慢性的な人員不足というのは旧岩船地域広域事務組合時代からもありましたし、新市移行後も同じような状況です。今佐々木委員がおっしゃったようにニーズが非常に高くなり、相談件数が非常に増えていて回りきれない。それこそ病院外来が3か月予約でいっぱいということで、相談室も同じような感じであり、この4月からもう1名職員を採用させていただきました。ドクターということになるとご要望は十分分かるのですが、いろんなところと相談をしないとクリアできませんので、ご趣旨等はしっかりと受け止めさせていただきますが、具体的にドクター配置に関して私どもが責任を持ってという発言はご勘弁いただきたいと思っております。ただ現状は、委員おっしゃられた内容そのままでございますし、ことばとところの相談室も同じような状況です。職員が退職する時の対応を、現村上市の圓山教育長が就任当時から長年要望し続けまして、この4月から1名確保いたしました。充実させていかなければならないということは人事当局も理解しておりますので、ご要望等はしっかりとお伝えさせていただきます。お約束の方は勘弁していただきたいと思</p>

<p>忠会長</p>	<p>います。</p> <p>佐々木委員よろしいでしょうか。この件に関して、私、携わっていた人間としてひとつよろしくお願いたします。それでは、教育関係については以上でよろしいでしょうか。それでは、一番ボリュームのある部分22ページからの産業振興についての説明を事務局の方からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>③具体的連携事業【資料1-1】22ページ 産業振興について 説明</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。産業振興につきましては、3人の委員の方からご意見をいただいております。まず始めに瀧波副会長よりお願いします。</p>
<p>瀧波副会長</p>	<p>私はお茶という農作物を作っております、最近温暖化による気象条件の移り変わりが非常に激しいです。雨が降らなかつたり、高温になったりということで農業については、ぜひ力を注いでいただきたいと思います。また私何よりご飯が大好きなもので、三食ご飯を食べておりますが、岩船米につきましても高温による作物の研究などを充実させていただけたらと思っております。また村上市は観光も掲げているのですが、商人会（あきんど会）などで町屋の再生づくりということで、力を注いでおりますのでその他の景観もこの城下町にふさわしいように、もし作り変えたとしたら市から補助金が出るとか、そんな地域になったらもう少しこの村上に訪れる方からも、ちょっと別な世界に出かけたかなと観光に対して満足していただけるのではないかと思います。大内宿とかいろんな観光地がございます、私も大内宿には行ったことがありますが、確かに古い建物なのですが、いかにも買っていただき、買っていただきとお土産屋さんばかりなもので、ちょっとげんなりいたしました。観光というのは、只々販売すればいいだけではなくて、その街の景観が本当に歴史とともに残っているというのがすごく大事なのではないかなと思います。お買い物はその時その時によって、その店に訪れてお客様が決めることで私どもが売りたいとか商いということではなく、この環境資源を利用した観光ができればいいなと思います。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。瀧波副会長さんより観光という話が出ましたので、松浦委員の方から同じ広域観光ルート事業ということでご意見が提出されておりますので、よろしくお願いします。</p>
<p>松浦委員</p>	<p>観光振興の部分につきましては、広域観光ルートの開発ということで具体的な連携事業の方に入っておりますので、特に粟島浦村の場合は村上市の方からのアクセスが悪い部分がありまして、村上駅から粟島汽船までの道路が非常に不便だという声を多く聞きます。同じように旧村上市から少し離れたところへの二次交通という部分が充実できれば広域観光ルートとして新たに開発できるのではないかと思います。検討をぜひお願いしたいと思います。また圏域内の関係者の情報交換会や講習等については、圏域全体で誘客を増やすという部分で、関係者を集めて講習会等を開催していただければ、観光分野全体として盛り上がりも期待できるのではないかと思います。その部分での要望ということになります。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございました。そうしましたら、今観光を主に意見をいただきたいので、関川村の船山委員の方から、何かご意見等ございましたらお願いします。</p>

船山委員	<p>私どもの自然環境管理公社は、日帰り温泉施設「桂の関温泉 ゆーむ」、「せきかわふれあいど〜む」、「関川村東桂苑」などの観光施設を管理しているわけでございますけれども、観光ルートを作るということについては、早急にお願いしたいと思っておりますし、今後やはり観光客の皆様が岩船郡内、村上市の方に来てよかったな、また来てみたいなというふうなことを思っただけのような観光地づくりをしていきたいと思っております。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。つづいて関川村温泉組合の高橋委員の方から何かご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
高橋委員	<p>少し勉強不足で教えていただきたいのですが、村上市と私ども関川村また山形を巻き込んでの「きらきらうえつ観光圏」というものがあるかと思うのですが、それに代わるようなものというものはあるのでしょうか。</p>
忠会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>広域観光ルートに係る分科会について、すぐにでも作りたいと思っておりますが、山形やきらきらうえつ関連で観光担当者が集まる機会がございますので、常日頃話をしている内容だと聞いております。事務局の方では平成28年度の事業で具体的にどこまで盛り込めるかという点を、村上市の商工観光課の担当に取りかかってもらうよう指示をしておりますので、協議に入らせていただき、何らかの形で委員の皆様にも早いうちにご提案できるのかなと思っております。</p> <p>それから瀧波委員からのご提案にもありましたように、岩船米の販売について、今日本間委員がいらっしゃればお話をいただきましたかったのですが、残念ながらご欠席ということでございますので、岩船米自体もにいがた岩船農協とかみはやし農協とそれぞれ既に取組がなされているとお聞きしております。観光との連携となると私ども行政マンは商工連携とか6次産業化など、いろんなことが頭をよぎるわけですが、いずれにしても岩船米については、大きな農政改革により補償費の関係が平成30年に廃止という話が出ております。市内部でもそのような形での再生協議会の方で議論しておりますので、米だけでというよりは観光と結びつけるような議論に発展していくのだろうと思っております。定住自立圏での位置づけは、第2次村上市総合計画でも同様の視点での取組となり、それを定住自立圏に広げるのだろうなという認識にいますので、このまま分科会の方に意見をお伝えしたいと思っております。</p>
忠会長	<p>松浦委員の意見に対しての回答について、事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>公共交通との関係をどうするかという部分がございますので、村上市も栗島浦村も公共交通活性化協議会でそれぞれ計画を立てて動いておりますので、公共交通としての二次交通なのか、観光だけを目的としたシャトルバスとか観光バスなのかの整理を十分しなければならないだろうと思っております。なお、これも広域観光ルートとなれば検討が必要ですので、村上駅を拠点として観光ルートをするのかなど、分科会にお伝えしたいと思っております。観光ルートについて、担当と話をした際には関川村の温泉と村上市の温泉と栗島浦村の温泉の3つある温泉を結びつけることはできないのかというような具体的な話をさせていただいておりますので、二次交通という視点での議論もするようお願いさせていただきますと思っております。</p>

忠会長	<p>ありがとうございました。観光部門について以上でよろしいでしょうか。続きまして、鈴木委員から林業関係について、2つご意見をいただきましたので併せてお願いします。</p>
鈴木委員	<p>林産物等の物流低コスト化事業ということになってはいますが、当初は間伐材等林産材有効活用事業ということだったので、「バイオマスのエネルギー利用を地域全体で図る。」とあげさせていただいたのですが、これだと若干意味合いが違ってくるのかなと思うのですがよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>23ページの方で事業名を間伐材等林産材有効活用事業から林産物等の物流低コスト化事業に変更してございますが、タイトルだけを見ますと別な事業に思われるかと思いますが事業内容を見ていただくと、さほど変更していません。大きな枠組みでとらえさせていただいたということですので、問題のないご意見だと思います。</p>
鈴木委員	<p>わかりました。それでバイオマスのエネルギー利用をということで、地域全体ではかかっていただきたい。今関川村では準備段階でありますけれども、村上市と関川村で新潟県の半分以上の杉材を搬出しているわけですけど、なるべく早くバイオマスの発電を実施していただきたいし、利用していただく施設を増やしていただきたいと考えています。</p> <p>またもう1点、新規提案ですが農林業へのキャリア教育の推進ということで、先ほどの統計的な数値の説明がありましたけれども、7ページで産業別就業者数の推移で気になった部分がありまして、8ページのグラフで栗島浦村の昭和60年の第1次産業79名でその後若干増えて、平成22年には98名ということで、数値が増えたり減ったりとその辺の推移が気になりました。また、表中の平成17年と平成22年で旧神林村、旧朝日村の第1次産業就業者数の比較で平成17年の旧朝日村が1,070名、平成22年が775名で減っていますが、旧神林村を見ますと数値的には減っていますが、そんなに減っていないわけです。その辺りを少し検証していただいて、なぜ平場で同じ旧朝日村と旧神林村でそんなに違いがあるのか少し気になっていました。そういう部分で高校生からのキャリア教育が必要なのかなと考えています。そこで、農業の方もそうですけど特に林業の就業者人口が減っているかと思えます。その辺を調査しながら高校生のうちから地域の仕事に就いてもらって地元に残ってもらうような事業が展開できればいいのかなと思って新規提案させていただきました。以上です。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。今ほど林業関係の話がありましたが、山田委員の方から何かご意見ございましたらお願いします。林業後継者の話もできましたら。</p>
山田委員	<p>ありません。</p>
忠会長	<p>今年確か、新人がいわふね森林組合に採用されたと思ったのですが。</p>
山田委員	<p>村上市森林組合に1人、うちの方に1人、教育を受けて4月に入社しております。</p>
忠会長	<p>働きぶりはどうですか。</p>

山田委員	<p>どちらも国の補助事業で「緑の雇用」現場技能者育成事業を活用して採用しており、定期的に能力評価チェック等を実施しています。今のところ成長しております。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。それでは、今ほどの2点について事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>1点目の林産物等の物流低コスト化事業ということでバイオマスの関係で、鈴木委員から説明がございましたが、関川村さんで今、大きな事業の最終的な方向性が決まりつつある中、現段階では大きく2点に分けて考えていく必要があると思います。関川村さんを中心としたバイオマス発電事業ができた時の間伐材利用の視点と関川村さんの動向を見ながらもボイラー熱の利用という視点です。村上市でも朝日地区のまほろば温泉、山北地区のゆり花温泉でボイラー熱を利用した温泉施設を持っており、2、3年前に別の会議で同じような議論をしたことがございます。山北支所庁舎を3年前に建て直したときは、バイオマスの方を入れさせていただいて、環境計画では計画的に進めるとなっていますが、実際は進んでいないというのが現状です。バイオマスを盛り込むときは、関川村さんの動向と併せて盛り込むべきだろうということで、現段階では保留とさせていただきたいのが1点目でございます。2点目の新規提案の部分はウッドジョブのことをおっしゃっているのかなと思いますが、非常に良い事業だと認識しております。これも次の協定項目の中に盛り込むかどうかとなった場合は、議会の議決が必要となります。今年度中なのか、来年度中なのかを含めてお預かりさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、事務局といたしましては、積極的に盛り込みたいというふうに思っております。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。鈴木委員よろしいでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>産業別就業者数の推移について、詳細を調べておいてもらっていいですか。若干地区によって産業別就業者数の推移が変わっているので、お願いします。</p>
事務局	<p>8ページの栗島浦村のグラフを見たとき、栗島浦村の本保総務課長さんと話をしたのですが、昭和60年と平成2年の数値を比べますと、昭和60年の数値にいささか疑問が残ります。ただ平成17年から平成22年で第3次産業者数があまり変わらない中で、第1次産業者数が減少しているなど着目すべき点もあり、ご指摘のとおり旧朝日村と旧神林村の差の部分は検証しておりませんので、何かの機会にご報告させていただきたいと思っております。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。それでは産業関係で物産振興の推進がございしますが、瀧波副会長さんお願いします。</p>
瀧波副会長	<p>物産関係は農業も盛んでありますし、私どもお茶の農業も一生懸命作っております。また魚なども豊富で食材の宝庫であると思っております。豊かな材質に恵まれておりますので、これらをどのように市外へ発信していくか、これからのいろいろな方面、いろいろな方々と協議しながら考えて、益々盛んにしていきたいと思っております。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。それでは産業振興については以上でよろしいでしょうか。次に環境衛生について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	③具体的連携事業【資料1-1】26ページ 環境衛生について 説明
忠会長	ありがとうございました。特に環境衛生について何かありますのでしょうか。ないようであれば、続いて消防防災について、事務局より説明をお願いします。
事務局	③具体的連携事業【資料1-1】28ページ 消防防災について 説明
忠会長	ありがとうございました。村上市消防団長の中山委員、何か常備・非常備に関わらず、ご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。
中山委員	関川村さん、栗島浦村さんとは消防団でつながりがありますので、年1回程度の訓練等を行っています。後は個別の消防団でございますので、実質消防団自体違いますので、個々に活動しております。なお、関川村さんとは災害等の協定も今のところないと思うので、遭難等で関川村に市民の方が山に入った場合の協力体制は可能かと思ひますけども、特別消防団として連携すべき事項はないと思ひます。以上です。
忠会長	ありがとうございました。他の委員の皆さん何かご意見ございますか。ないようであれば、(7)その他につきまして、事務局の方からお願いします。
事務局	③具体的連携事業【資料1-1】30ページ その他について 説明
忠会長	ありがとうございました。委員の皆さん何かご意見ございますか。ございませんか。それでは、32ページ結びつきやネットワークの強化(1)地域公共交通について、事務局より説明をお願いします。
事務局	③具体的連携事業【資料1-1】32ページ 地域公共交通について 説明
忠会長	ありがとうございました。栗島汽船の小幡委員、公共交通について何かご意見ございませんか。
小幡委員	栗島汽船であります。公共交通ということで先ほど松浦委員からもありましたけれども、栗島汽船といたしましては、栗島と岩船港を船で結ぶという役割を担っているわけですが、例えば岩船港に着いてから村上駅ですとか関川村さんに向けたつながりという所を考えていくと、どうなのかなと思ひます。栗島汽船としてできることは非常に限られているのかなというふうに思ひますが、栗島と岩船港を結ぶ船賃の割引ですとか、そういったところを見ていただければ、例えば瀬波温泉とのタイアップですとか、瀬波温泉のお客さんは、目の前に栗島が見えるわけですから、日帰りのお客さんで栗島を訪れる方もいらっしゃると思ひますので、そういった部分を考えていけばつながりというものが見えてくるのかなというふうに思ひますが、現在検討中であります。
忠会長	ありがとうございました。事務局より何かありますか。
事務局	公共交通というよりも観光の部分が大きく出てくるかなと思ひますし、先ほど松浦委員より二次交通の関係もございますし、非常に具体的な提案でございますので、そのまま分科会の方にお伝えさせていただきたいと思ひます。

忠会長	<p>ありがとうございました。他に皆さんご意見等ございますか。なければ、33ページ（2）地域連携について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③具体的連携事業【資料1-1】33ページ 地域連携について 説明</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。何か委員の皆さんご意見等ございますか。秦委員いかがでしょうか。ご意見ございませんか。</p>
秦委員	<p>個人的な意見であります。どこの地域においてもこの婚活については、力を入れているようでありますけれども、すみません。このように言うと悪いようであります。お話を聞けば、イベント自体が目的であって婚活が二の次になってしまうということで上滑りをしてしまうのではないかとという心配がありまして、婚活事業に対しては全く反対ではないのですが、何が目的かということをよく考えていただいて事業を行っていただけないかということが要望でございまして、観光事業の一つではないということだけはお互い理解していただかないと楽しただけで終わってしまい、何の成果も上がっていないということに繋がらないかなという心配を、すみません、何も知らないのにこういう言い方は悪いのであります。個人的には、日本の結婚というのは恋愛結婚になったのは、つい最近のお話だということもあって、本来は見合い結婚が主体でお互いに結婚を明治の初期から戦後まで多かったかと思えます。そういう意味では楽しいイベントだけで女性を釣るようなことはしないで、周りが責任を持って昔ながらのお見合い形式であってもいいのではないかと思います。今は婚活ブームであります。やればいいのかというそんな事業には、なってもらいたくないという私の個人的な意見でありまして、出来るか出来ないかを別としても、必ず成果を上げるのだというところに趣をおいていただきたいと思えます。以上であります。</p>
忠会長	<p>事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>委員の意見に反論するわけではありませんが、今の若者に婚活・お見合い・結婚という言葉を出しすぎると参加者が集まらないというリスクもございまして、騙すわけではありませんけれども、楽しいという所も前面に出していかなければならないという苦しさはあろうかと思います。委員のおっしゃった視点で既に取り組んでいる他の自治体もございまして、テレビで盛んに放送されています富山県の南砺市さんは、お見合いをさせる人を市が雇用するケースもございまして、村上市として、8月5日に第1回目の3市村の若手職員による婚活プロジェクト会議を開催しており、第2回も今週21日に懇親会付きで行う予定でありますので、このまま意見はお伝えさせていただきたいと思っております。</p>
秦委員	<p>昔、確か栗島汽船を使った婚活事業がありましたけれども、私はあの当時のお話をお聞きしたところ、ほとんど結婚したのは村上市の職員と旧朝日村の職員だったとかで、職員同士の結婚が多くて実際成果があったかということであったわけでありまして。私は予算を付けてやるのであればということをお願いしたいのであります。税金を投入して行うわけだから、成果は必要ですよということをおっしゃっているのでありまして、男女の結びつきが好きか嫌いかという所が非常に大事な部分ではあります。例えばそれを支える親御さんだったり御兄弟さんだったり親戚の方だったり絡み合いながら昔はお見合いというのがあったわけ</p>

	<p>であります。捻くれているわけではありませんけれども、観光イベントというかそれで参加者を募るといのはよくわかりますが、それにしても真面目に結婚をしたいという目的を持った方がまずは前提だろうと思います。騙されて来て結婚する可能性が十分あるのかもわかりませんが、何と言っても結婚を要望している人たちが集まる場でなければ話は進まないのではないかと思います。具体的に何があるか私もよくわかっていませんが、その辺をよく踏まえていただきたいと思います。すぐ何か事業をするという婚活だといいますが、どれくらいの成果があったかという報告もやはり必要なのではないかと思いますし、ただやればよいという事業ではないと思います。すみません、少し言い過ぎかもしれませんが、よろしくお願いします。</p>
<p>忠会長</p>	<p>粟島汽船での船上パーティを企画したのは私でありまして、本当に秦委員のおっしゃる通り実際には、追跡調査をしていなかったのですが、成果は4組くらいだったかと思いますが、最初は追跡調査をしました。ただ中々当時はそこまでやると嫌がるということで、10年くらいやらせてもらいましたけれども、私今でも個人的には間違っていないかなと。若い方の交流という意味では良かったかなと思いますけれども、確かに実際に本当の意味での婚活を望んでいる人もいるわけですし、ご家族の方もそう思っていますので、その辺をメリハリつけながらやるのが、やはりこれからなのかなと思います。ただその中には、餌をまくわけではありませんけれども、餌まきをしながら本命を釣るといふのも必要なのかなというふうには個人的にはそう思っています。9月に朝日地区でも事業が行われますので、またその結果を踏まえながらやっていきたいなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>補足でも何でもないので、今会長おっしゃったとおりでありますし、秦委員の意見もそのとおりだと思います。成果という面では来年度のこの共生ビジョン審議会で、今年度の実績とその成果をご報告させていただき、委員の皆様にはこのビジョンで実施した事業の実績と成果に対して、ご意見等いただく場となりますので、今の意見を視野に入れてきちんと事業化をしていきたいと思っています。</p>
<p>忠会長</p>	<p>ありがとうございます。ここでは、新規提案ということで鈴木委員の方からご意見がありましたので、特に説明することがありましたら、お願いします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>先般の会議の際にも言わせていただきましたが、グリーン・ツーリズムについてであります。地域内外の子供たちの体験交流を進めていただきたいなと思います。そのほかに子供たちだけでなく、先般の農業新聞に記載されていましたが、山形県の飯豊町ではインバウンドの交流ということで、農家民宿等に泊まっていただくような事業も非常に盛んに行われており、台湾の方々16,000人くらいの方が入られているような記載でしたけれども、観光を含めてやっていただければ良いのかなと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
<p>忠会長</p>	<p>事務局の方からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回は大変申し訳ありませんでした。市長の方から協定変更について議会に提出する方向での指示をいただいておりますので、間違いなく今年度内に議会の方へ追加提案していきたいと思っています。</p>
<p>忠会長</p>	<p>それでは、続きまして(3)システム共同利用の環境整備について、事務局</p>

	<p>の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③具体的連携事業【資料1-1】34ページ システム共同利用の環境整備について 説明</p>
忠会長	<p>委員の皆さんから特にご質問等ございますか。</p>
鈴木委員	<p>連携村が栗島浦村だけとなっていますが、関川村の方は連携しないという考え方でしょうか。</p>
事務局	<p>システム共同利用事業については、栗島浦村さんのみとの連携となっております。理由といたしまして、栗島浦村さんが戸籍の電算化システムのクラウド化を予定しておりますが、関川村さんの方は今独自で戸籍のサーバーリースを入れておりまして、今回の5年間の中では、契約期間が残っているため、当初の協定には入りません。次の計画更新の際は、載せることとしております。</p>
忠会長	<p>よろしいでしょうか。それでは、最後に35ページ3圏域マネジメント能力の強化について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>③具体的連携事業【資料1-1】35ページ育成・交流の推進について説明</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。委員の皆さんから何かご質問等ございますか。松浦委員をお願いします。</p>
松浦委員	<p>事業費見込欄で栗島浦村が0（ゼロ）ということですが、どういった意味なのでしょう。</p>
事務局	<p>すみません、後ほど当日配布資料でご説明させていただく予定でしたが、事業費見込の中で、栗島浦村だけが0（ゼロ）ということですが、平成27年度当初予算書の中で、組まれている予算額を計上したものです。平成28年度以降については、今後協議の上、皆様方に予算措置を含め検討していただくこととなります。平成27年度の予算上は計上されていなかったということでご理解いただきたいと思えます。</p>
忠会長	<p>よろしいでしょうか。それでは、最後にその他の意見ということで、まずは秦委員の方から特に書いてあること以外に説明があるようでしたら、お願いします。</p>
秦委員	<p>こういう地域のために、まずは根本的には、雇用の創出を何としてもやっていただきたいということでありまして、働く場があればきっと多くの方たちが定住していただいて、その中で医療とかいろいろな問題がその中で多く解決される部分があるのではないかと思います。何と云っても人口が減っていくことの歯止め策は行政の施策の中で一番に雇用の創出また多様性と非常に難しいことを言っていると思うのでありますが、ここが胆なのではないかということでありまして、働く場がないという所が非常に私たち若い人の痛切な悩みなのではないかと思えます。何とかその部分について力を併せて、それぞれ1市2村で取り組んでいくのが先決なのではないかと思えます。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。それでは、松浦委員の方からお願いします。</p>

松浦委員	<p>定住自立圏という文言をインターネットで調べると先進的に取り組まれている自治体があるかと思うのですが、そういった自治体の事業と同じような内容が載っているのかなと思います。他の自治体で先進的に取り組まれている事例の中で、効果が表れている内容というものは、とりわけ効果が期待出るところと取り組んでいるところでも、あまり効果が見えてこないような事業などもあるのではないかと思います。そういった部分では、新たな取組を考えていただきたいという所と今ほど秦委員が申されたとおり、私も雇用というのが一番産業育成で雇用という部分があって、人というのは初めてそこに住んでいけるといいますので、その部分を今回いろいろな事業が多岐にわたってありますが、予算の配分も含めまして、効果的な部分はどこかなという所を考えていただけたらと思います。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。2人の委員の方からご意見に対して、事務局の方からありますか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。両委員のご意見ごもつともだと思います。企業誘致は定住自立圏もそうですし、それぞれの市村で非常に頭を悩ませているところでありまして、重要性については十分認識しております。松浦委員のご意見の関連もごさいますが、他の定住自立圏として、企業誘致があるかどうか正直認識しておりませんが、ネットワークで何ができるかという確認は、十分にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
忠会長	<p>ありがとうございました。これで具体的な連携事業について、すべて整理させていただきましたけれども、特に皆さんの方で、ここを言い残した部分などごさいますか。それでは事務局の方から、お願いします。</p>
事務局	<p>本日配布させていただきました資料は、具体的連携事業ということで、事業費入りとなっております。今ほどご説明しました赤字部分を修正し、事業費につきましては、現在すでに負担金等が発生して連携を進めているものについて、金額を入れさせていただきましたが、未定というものがごさいます。こちらにつきましては、平成28年度以降、拡充の方向で検討していく中で予算を決定していきたいということで未定とさせていただいております。こちらの資料をもちまして来週から予定しております、パブリックコメントで市民の皆様からご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。 (事務局補足)</p> <p>会長すみません、今ほどの事業費入りの部分で平成28年度以降も金額が入っているものについて、まだ議決されておりません。今年度の負担金ベースで数値を落とすだけでありますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p>
忠会長	<p>ただ、金額が入っていないと悪いので、載せたというだけのことですね。わかりました。特に皆さまから何かご意見等ごさいますか。なければ、議事(2)パブリックコメントについて、事務局の方から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>3. 議事(2)パブリックコメントについて 説明</p>
忠会長	<p>ご質問等ごさいませんか。それではこれで議事を終了してもよろしいでしょうか。それでは、議事が終了いたしましたので、進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございました。</p>

事務局	<p>4. その他</p> <p>大変どうもありがとうございました。それでは、次回開催日でありますけれども、第3回共生ビジョン審議会につきましては、9月25日（金）をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。本日もご協議いただきました修正としては、圏域の将来像のまたからの3行目を削除するという修正だけで、後については原案どおりということで、修正させていただきたいと考えております。大変ありがとうございました。それでは、最後に瀧波副会長さんの方から閉会の挨拶をお願いいたします。</p>
瀧波副会長	<p>5. 閉会</p> <p>〈あいさつ〉</p> <p style="text-align: right;">以上</p>